

2018年9月1日  
現勢2,803名  
前月比-2名  
2826名(1/1付)

# 小平東村山

発行所  
東京土建一般労働組合  
小平東村山支部  
小平市仲町381番地  
電話 042-342-2846  
FAX 042-342-2848  
発行人 川口 直明

## 年間実増を成し遂げ 希望を結実する組合へ



↑秋の月間をやりきること誓い全員で団結カンパニー  
←オルグ団を代表して決意表明をする石塚組織部長(写真中央)

### 2018秋仲間づくり月間

#### 支部 出陣式を開催

8月24日(金) 東村山市市民センターにて開催した出陣式を皮切りに、秋の仲間づくり月間に突入しました。  
出陣式は、交流会形式で開催し全体106名が集結、各分会・分野からスローガンが発表されたほか、秋の仲間づくりに向けた取り組み方針や目標提起を行い、意志統一を図りました。

### ～頑張るあなたへバブでバブでバブリーな気分を～ バブバブ大作戦

今回の月間では、組合員訪問は1件ごと「バブ剤」を1個配布します。さらに、50件到達ごとに豪華な「バブメディケイティッド」が配布されます。  
バブは、炭酸ガスが温浴効果を高めて血行を促進、疲労・肩こり・腰痛・冷え症に効く薬用入浴剤シリースです。仲間づくり行動の参加者に配るもよし、訪問先や対象者を紹介してくれた仲間にも渡し、バブを

東京土建では現在、秋の仲間づくり月間の真っただ中です。  
当支部では、8月24日に出席式を交流会形式で開催し、10月末までの長い月間を乗り切るための英気を養い、支部内での同じ目標を共有しました。



水戸〇門が登場し会場は大盛り上がり

終始明るく雰囲気です。事が進行する中、この日一番の盛り上がりを見せたのは、けやきの会の決意表明でした。今月間の目玉企画の一つでもある「バブバブ大作戦」においてオリジナルシール化もされた会長の山岸さんが水〇黄門に扮して登場。圧巻の貴禄で、参加者の士気をより高めました。  
今月間は3つの「大作戦」がキーワードです。「バブバブ大作戦」(詳細は本紙面参照)の

### 大作戦でやりきろう

また、昨今は組織数だけでなく、「セレクトスリー企画」などで分会の長所を伸ばしたり、弱点を補ってこども仲間づくり月間の大きな目的となつていきます。全組合員の力を結集させて、この月間の最後を目標達成で迎えられるよう前向きに進んで行きましょう。

### 足立支部より奥田書記が入職



奥田 八志 書記

8月1日から足立支部より異動してきました。奥田八志(おくだ やつし)と申します。名前には特に意味はありませんが、八つも志があるので「志が多い」と言われます。

#### 趣味は「釣り」

私の趣味は、釣りで、キス・アジ・ヤリイカ釣りは、昨年はじめた釣りで、まだまだ腕は未熟です。釣りは、どうしたら釣れるのか?あれこれ考えるのが楽しくて、最近では、仕掛けを作れるようになり、釣りがどんどん好きになってしまいました。組合員にも釣りを趣味とする方がたくさんいらっしゃいます。支部に来たときは釣り話を気楽にして頂ければと思いますので、よろしくお願ひします。

#### 労働対策部を担当

小平東村山支部では、

(K)

### 用水路

残暑お見舞い申し上げます。今年の夏も、記録的な猛暑・豪雨・台風に見舞われ、大変な夏でした。被災地はもっと大変だったと思います。お見舞い申し上げます。一方、100回記念大会の夏の甲子園(高校野球)は、秋田の金足農業高校の活躍で日本中が大いに盛り上がりました。先の戦争で数年の中断がありました。平和であればその出来事でした。8月8日、沖繩のため、沖繩県民のためにたかっきた翁長沖繩県知事が、志半ばで亡くなりました。沖繩県出身で5月に県民栄誉賞を受賞した歌手の安室奈美恵さんがホームページで、お悔やみを綴っています。「沖繩の事を考え、沖繩の為に尽くしてこられた翁長知事のご遺志がこの先も受け継がれ、これからも多くの人に愛される沖繩であることを願っております」▼戦後73年のこの夏、被災孤児の悲惨な労苦を伝えたNHKの「駅の子の闘い」や、治安維持法によって自由を奪われ戦争に向かった実態を浮き彫りにした「自由はこうして奪われた」などテレビや新聞で報道されました。そのどれもが「二度と戦争は繰り返してはならない」という思いでいっぱいでした。



通常版のシール

# 「一人親方も救済」の判決

## 建設アスベスト訴訟 大阪高裁（京都ルート）全面勝訴

### 大阪ルートの判決は9月20日



判決後の議員会館の様子

【南 石島弘 記】  
関西建設アスベスト東京  
都訴訟大阪高裁判決が8  
月31日にあり、被告であ  
る国と企業の10社の責任  
を認められた。そして今  
まで認められなかった  
一人親方も救済され  
る全面勝訴とな  
りました。

「一人親方も労働者と同じ労働をしていくから、労働安全衛生法が適用されるべきである」「労働法保護からはじかれていく請負者・一人親方も救済されるべきである」と判決は誠意あるものでした。大阪ルートの判決は9月20日にくだります。

## 仲間の団結 より強固に

### 支部PALの会BBQを開催

PALの会副会長・住宅部会会長  
美園分会 藤原 和利 記

8月26日（日）、たけのこ公園にて「支部PALの会BBQ交流会」が開催されました。台風により中止となった昨年のリベンジが叶い晴天のもとで26名の参加で交流を深めることができました。自己紹介のコーナーでは参加者から「屋根裏の追加工事をすれば2〜3日かかるのに平米単価込



26名の仲間が集まった

には、大手企業交渉へ向けた従事者会議も開催しますので、従事者の方は出席・情報提供のご協力をお願い致します。

みでやらされ、追加工事代金は「もらえない」といった現状や、「声を上げて週休2日と単価の増額を勝ち取った。これからは現場で声を上げたい」といった活動への想いが語られ、「頑張ろう！」の声が飛ぶ

# 分会の未来に明るく 上宿分会 バスレクに多くの仲間が集結



台風一過の晴天に恵まれた

【上宿 染矢憲広 通信員】  
7月29日（日）に分会バスレクを実施し、秋川国際マ釣り場にてBBQを行いました。前日の台風の影響もあり天候の心配もあったのですが、仲間の日頃の行いがよかったのでしよう。見事に当日は天気回復。残念ながら増水のため川遊びができませんでしたが、河原でのスイカ割り

## 2018 原水禁世界大会報告

【書記 北岡佳織 記】

私は、十数年ぶりに広島を訪れ初めて原水禁世界大会へ参加してきました。



原爆ドームの前で

この大会期間中とても印象に残っていることは、開会式で被爆者として藤森俊希さんが話してくださった内容でした。ご自身は当時1歳で母親と歩いている時に被爆し、奇跡的に建物で守られ助かったと母親から話を聞いたそうです。その話の中で藤森さんの母親は原爆投下後の街の悲惨な状況、

また原爆によって愛する家族を亡くした辛さ悲しみが多かったそうなのですが、藤森さんや幼い兄弟にその時の話を、涙を

## 現場で真実を実感

流しながら話されるそうです。そんな母親に「なぜ辛くて思い出したくないのに話をするの？」と問いかけた際に「もう誰にも二度と同じ体験をさせたくないから。『だから私もあの惨劇を』もう二度と誰にも体験してほしくないから、私は語りつづけるのです。」という藤森さんの言葉で、私は幼いころから公園にあるの川に沿って街並みを眺めましたが、

戦争・原爆の教育を受けてくる中で、少し距離を取っていた部分がありました。それは戦争・原爆の恐ろしさを知っていたからです。藤森さんの話を通して被爆者の体験は、原爆の恐ろしさ・惨さなどを伝えるだけのものではなく、同じ思い体験を誰にも味わってほしくないという強い願いが込められていると改めて悟ることができました。

広島を歩くと時間がありました。公園にあるの川に沿って街並みを眺めましたが、

今回の世界大会では、世界情勢についてなど視野を広げて学習をしてきましたが、今一度原点に戻り、知識だけでは足りなかった現場での真実と感ずるべきもの平和について改めて考え学ぶ期間になりました。

## 支部からのお知らせ

- 【お詫び】チラシに記載のある北多摩生協診療所の託児所設置については、諸事情により今回のみ中止
- ◆10月21日（日）  
申込：10月12日  
会場：みその診療所
- ◆10月28日（日）  
申込：10月19日  
会場：北多摩生協診療所
- ◆11月18日（日）12:00～  
申込：所属の群・分会へ  
会場：西武園ゆうえんち
- ◆9月25日（火）19:30～  
申込：不要  
会場：支部事務所2階
- ◆10月21日（日）  
申込：不要  
会場：支部事務所2階

日曜健康診断

無料起業セミナー

とさせていただきます。